卒業おめでとう　全日制課程237名

古川工高新聞　全日制

発行所
宮城県古川工業高等学校
新聞委員会
宮城県大崎市古川
北町４－７－１
電話 0229(22)3166
http://furukk-h.
myswan.ne.jp

Society 5.0とものづくり
～本校の工業教育の役割と展望～

校長　石岡恒一

Society 5.0とは、狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すものです。内閣府が２０１６年に「第５期科学技術基本計画」において提唱した概念で、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会です。この社会では、ものづくりにおいても、先進テクノロジーの活用や価値創造が重要になります。

本校の生徒の皆さんは、Society 5.0における日本のものづくりの担い手として、大きく期待されています。その期待に応えるためには、ものづくりに関する知識と技術を身に付けることが必要です。本校では、全日制が土木情報・建築・電気電子・機械・化学技術の５学科で、定時制が電気・機械の２学科で基礎的・基本的な知識と技術を習得できるように、カリキュラムを組んでいます。

また、資格や検定の取得にも積極的に取り組んでいます。資格や検定は自分の能力や知識を客観的に評価するもので、取得することで、自分の強みや弱みを把握し、自分の人生を自分で責任をもってデザインすることができます。また、就職や転職の際にも有利になり、自己のキャリアを発展させていくことができます。さらに、学び続けることのモチベーションにもなります。資格や検定を取得することで、自分の知識や技術を常に更新し、新しいことに挑戦することができます。

Society 5.0において、ものづくりは、必要なものを、必要なときに、必要な人に、必要なだけ提供するという方向にあります。しかし、「こんなものがあると生活が豊かになるな」というものづくりへの思いに変わりはありません。そして、本校のものづくりを通した工業教育という理念も変わりません。

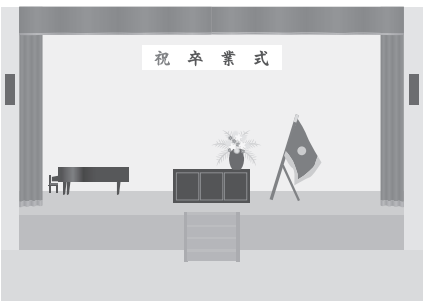
では、Society 5.0における日本のものづくりとは、どのようなものでしょうか。以下に、その特徴を３つ挙げてみます。

まず、ものづくりの目的と価値は、人間の心に訴えることが重要となります。ものづくりは、人々の幸せや社会の課題の解決に向けて、付加価値や意味のある製品やサービスを提供します。例えば、自動車生産においては、環境に優しい電気自動車や水素自動車、自動運転技術、カーシェアリングなど、新たな価値を創造する取り組みが進んでいます。そして、自動車は、環境負荷の低減や交通事故の防止、移動の利便性や快適性の向上など、人々の生活や社会に貢献する存在となっています。ものづくりの価値を高めるためには、ユーザーのニーズや感情に応えることが重要となります。

次に、ものづくりのプロセスと技術は、柔軟で効率的で創造的なものでなければなりません。市場や社会の変化に対応できること、生産や開発のコストや時間を削減できること、新しい価値やニーズを生み出せることが必要で、先進テクノロジーを活用することで、ものづくりの品質や効率、創造性を向上させることができます。例えば、ＩｏＴやビッグデータを活用することで、生産ラインの最適化や品質管理、故障予測などを行うことができます。ＡＩやロボットを活用することで、熟練工の技能をモデル化し、高精度な加工や組立、検査などを行うことができます。３Ｄプリンターやデジタルファブリケーションを活用することで、カスタマイズやオーダーメイドの製品を低コストで提供することができます。クラウドやブロックチェーンを活用することで、サプライチェーンや物流の効率化や安全化を実現することができます。これらの技術は、消費者の多様なニーズに応えるとともに、社会的課題の解決にも貢献します。

さらに、ものづくりの人材は、先進テクノロジーを理解し、活用し、創造することができる人材でなければなりません。そして、専門的な知識や技能だけでなく、異分野や異業種との連携やコミュニケーション、問題解決や創造性、倫理観や社会性など、幅広い能力を備える必要があります。そのためには、ものづくりの人材の教育と育成は、学校だけでなく、社会や職場、家庭など、さまざまな場で行われるべきで、一生涯にわたって続けられるべきです。

本校の生徒の皆さんは、今、学んでいること、これから学んでいくことに、しっかりと取り組んでください。そして、様々な人との関わりの中で、協調性やコミュニケーション能力を身に付け、豊かな人間性と創造性を備えた、心身ともに健全な工業人（ものづくり人材）となって社会で活躍して欲しいと願っています。



卒業にあたって

卒業生代表　宍戸遥太

長いようで短かった三年間がおわり、ついに卒業の時期がやってきました。三年生として過ごした最後の一年間は楽しくもあり辛くもある一年でした。友人などとの楽しい思い出が増えていくにつれてこの生活も長くは続かないことを考えると、とても寂しく思うこともありました。

私の三年間はとても充実していたと思います。高校入学時には思ってもなかったほど友人、先生方に恵まれ、さらに生徒会メンバーには感謝してもしきれません。体育祭や文化祭、その他の様々な行事の中で私を信じてついてきてくれたからこそ、まだまだ足りない部分はありますが自分自身少しずつ成長することができ、今の自分があると思います。一年間至らない私についてきてくださり、ありがとうございました。

一年生は来年度から二年生になります。まだ来年があるからと気を緩めず、気を引き締めて学校生活を送っていってください。二年生は来年から三年生です。前期には進路達成に向けた重要なテストがあります。しっかり勉強して、三年生としての誇りと自覚をもち、進路達成に向かって突き進んでいってください。

最後になりますが、在校生と先生方のさらなるご活躍を切にお祈りいたしております。今まで本当にありがとうございました。

卒業する先輩方へ

在校生代表　小井戸聖

三年生のみなさま、ご卒業おめでとうございます。先輩方の卒業を喜ばしく思うと同時に、寂しい気持ちが溢れてきます。

私にとって先輩方は、いつも私たちのお手本となって引っ張っていって下さり、頼もしく憧れの存在でした。行事でも企画・運営から盛り上げ役として最前線で活躍している先輩方の姿を見て、来年は私たちが古川工業を盛り上げていかなくてはならないと強く自覚しました。先輩方から学んだことは忘れません。次は私たちが後輩たちに信頼してもらえるように活動し、この学校を引っ張っていきます。

新天地でのますますのご活躍を心より応援しています。本当にありがとうございました。

受賞おめでとう

FTH賞
全日制課程
ラグビー部　村瀬　義人
陸上競技部　酒井　走和
柔道部　堀内　敢太
　　阿部　未来
機械研究部　門間　匠
　　高橋　真史
　　徳江　圭太
　　澁谷　知希
　　遊佐　翼
　　佐々木叶羽
　　湯山　福虎
　　大坂　颯輝
　　伊藤　隼
　　山崎　星翔
スキー部
御下賜金記念中央会長賞優良卒業生
建築科　砂金　桃子
東日本高等学校土木教育研究会会長賞
土木情報科　千葉　大翔
東日本高等学校建築教育研究会会長賞
建築科　和田　善
日本工業化学教育研究会会長賞
化学技術科　伊藤　松子
日本化学会東北支部長賞
化学技術科　山口菜々美
宮城県産業教育振興協会会長賞優良卒業生
土木情報科　尾形　莉望
建築科　松村　佳奏
電気電子科　安田　陸
機械科一組　門間　匠
化学技術科　白鳥　優斗
危険物取得者
甲種取得者
化学技術科　伊藤　松子
　　白鳥　優斗
乙種全類取得者
化学技術科　石堂　優真
ジュニアマイスター顕彰
特別表彰
建築科　井澤　翼
　　木村　悠人
　　松田　陸夢
　　和田　善
　　渡辺　一晟
機械科二組
ゴールド　澁谷　知希
土木情報科　千葉　大翔
　　大和田煌太
建築科　阿部ななみ
　　砂金　桃子
　　井澤　翼
　　板垣　瑠那
　　岩間　奏汰
　　遠藤　桜
　　加我　亮汰
　　木村　悠人
　　栗田　広夢
　　鈴木　真都
　　関根　眞
　　髙島　菜々
　　高橋　慶吾
　　髙橋　璃士
　　田中　廉人
　　日野　駿斗
　　松田　陸夢
　　松村　佳奏
　　和田　善
　　渡辺　一晟
電気電子科　今野　捷太
機械科一組　高橋　真史
　　徳江　圭太
機械科二組　澁谷　知希
化学技術科　伊藤　松子
シルバー
土木情報科　内海　颯斗
建築科　大内　花純
　　小川　航世
　　菊地　るり
　　今野　未悠
　　佐藤　海凪
　　末永　和登
　　布塚　諒
　　府田　里実
　　三浦　隼
電気電子科　氏家　幹太
　　髙橋　遼次
　　三浦　大輝
　　安田　陸
機械科一組　門間　匠
機械科二組　久光　大貴
化学技術科　白鳥　優斗
ブロンズ
建築科　木田　愛心
　　村山　優佑

思い出 ア・ラ・カ・ル・ト

三年間の思い出

土木情報科三年　髙橋　笑瑠

私にとって土木情報科で過ごした三年間は一生の宝物です。三年連続で総合優勝を取れた体育祭、みんなで計画を立てクラスの出し物をした古工展、テスト後恒例のドキドキくじ引き席替えなど、今振り返ってみるとこれには書ききれないほどのたくさんの楽しい学校生活でした。毎日を楽しく過ごさせてくれたクラスメイト、そして担任の喜仁先生三年間ありがとうございました。土木情報科で良かったです！

三年間の思い出

建築科三年　砂金　桃子

今までの三年間の高校生活は、私自身を大きく成長させてくれました。友人との思い出や学校行事、課題にテスト、学生らしい三年間を送れたと思います。どんなことにも楽しさを感じました。学校行事も思い出は多いですが、私の中では友人とくだらない話で笑い合える日常が宝物です。学生は人生の中で短い期間ですが、短いからこそ本気になることができたと思います。きっと、この高校生活での経験がこれからの私を創っていくと思います。先生方やクラスメイトに感謝です。三年間ありがとうございました。

三年間の思い出

電気電子科三年　堀籠　友太

高校に入学してからあっという間に三年間が過ぎました。もう卒業を目の前にしていることが信じられません。レポートに追われ、試験勉強に追われ、資格取得に追われての三年間で、辛いこともありましたが、体育祭、修学旅行、文化祭など、それより多くの楽しい思い出をつくることができたと感じています。入学当初は、他の中学校の人との会話が少なく静かなクラスでしたが、三年間で仲を深めとてもにぎやかで楽しいクラスになりました。最後まで大きな問題行動なく、四十人クラス全員欠けずに卒業を迎えることができ、とても嬉しく思っています。この三年間は、私にとって忘れられない大切な思い出になりました。三年間ありがとうございました。

三年間の思い出

機械科三年一組　手嶋　健太

古川工業高校に入学して三年が経ち、卒業を迎えることができました。高校三年間はいろんなことがありました。今になって振り返ってみると、行事だけではなく、一日一日が思い出です。何も分からず先輩や先生の指示に精一杯取り組んだ一年生。学年が上がり、学校行事を本気で楽しみ、思い出が増えてきた二年生。全ての行事が最後となり、また、進路活動で忙しい日々を過ごし、時間があっという間に感じた三年生。この三年間で数え切れないほどたくさんの思い出ができました。

三年間の思い出

機械科三年二組　栗原　大和

私の三年間の思い出は、機械科のクラスメイトと過ごした日々です。私たちの学年は、入学した時期がまだコロナ禍の状況で、まだあまり制限などが解けていなく、自由とは言えない生活をしていました。ですが、その中でも機械科一組二組関係なく交流を深めていき、体育祭や古工展を通して機械科としての一体感が高まっていきました。二年生にはコロナによる制限も緩和され、中学時代に行けなかった修学旅行にも行くことができました。そして、三年生になり、就職活動や進学受験をお互いに支え合い、今のように明るく楽しく生活を共にしています。この思い出は機械科の皆じゃなければ出来なかったので、三年間このメンバーで締めくくることができてとても嬉しいです。今までありがとうございました。

三年間の思い出

化学技術科三年　奥田　珠真

私にとって、この古川工業高校でクラスのみんなと過ごした日々は、これから先の人生の中に、一生の宝物として刻み込まれました。授業も部活動も文化祭や体育祭で盛り上がった時間もみんなで焼肉をした時間も一つ一つが大切な思い出です。

特に一番記憶に残っているのは、二年生のときの修学旅行です。クラスの友達だけではなく、他のクラスや他校の友達とも交流しながらUSJでアトラクションに乗ったり、京都で神社巡りをしたり、兵庫の中華街で食べ歩きやショッピングをしたりして、ものすごく楽しくて、幸せな四日間でした。

この三年間、私達は多くの人や先生方に助けられながら、クラスでチームとなり、支え合うことでここまでくることができたと思っています。卒業後も感謝の気持ちを忘れずに生活し、未来への道へ力強く歩んでいきたいです。有り難うございました。

各大会・コンテスト結果

バレーボール

宮城県高等学校バレーボール新人大会
▼2回戦
古川工業2－0仙台西
▼3回戦
古川工業2－0仙台三
▼準々決勝
古川工業2－0宮城農
▼準決勝
古川工業0－2仙台商
▼順位決定戦
古川工業2－1仙台育英
▽第3位

男子バスケットボール

宮城県高等学校新人大会
▼1回戦
古川工業60－66富谷

女子バスケットボール

宮城県高等学校新人大会
▼2回戦
古川工業32－53仙台青陵

ソフトテニス

宮城県高等学校ソフトテニスインドア大会
男子団体
古川工業1－2
仙台高専名取
古川工業0－3東北

柔道

第46回全国高等学校柔道選手権大会宮城県大会
男子団体
▼2回戦
古川工業5－0仙台西
▼準々決勝
古川工業4－0宮城水産
▼準決勝
古川工業1－2仙台育英
▽第3位
女子団体
▼準決勝
古川工業1－2柴田
▽第3位
女子個人
▼63kg級
▽優　勝　菊池　悠菜
▼無差別級
▽第3位　渡邉　心結
第46回全国高等学校柔道選手権大会東北地区大会
男子団体
▼1回戦
古川工業4－0
福岡工業・一戸
▼2回戦
古川工業0－4青森北
女子団体
▼1回戦
古川工業①－1盛岡第一
▼2回戦
古川工業1－2八戸西
女子個人
▼63kg級
▽優　勝　菊池　悠菜

スキー

第73回宮城県高等学校総合体育大会スキー競技会
男子総合
▽第1位　古川工業高校
男子クロスカントリーフリー10km
▽第3位　山崎　星翔
▽第4位　大坂　颯輝
▽第5位　遊佐　翼
▽第6位　湯山　福虎
男子クロスカントリークラシカル10km
▽第2位　山崎　星翔
▽第3位　遊佐　翼
▽第4位　大坂　颯輝
▽第5位　湯山　福虎
男子クロスカントリーリレー（10km×4）
▽第1位　古川工業高校（山崎　星翔、湯山　福虎、大坂　颯輝、遊佐　翼）
第78回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会宮城県予選会
クロスカントリー少年男子10kmクラシカル
▽第1位　山崎　星翔
▽第4位　遊佐　翼
▽第5位　大坂　颯輝
▽第6位　湯山　福虎
クロスカントリー少年男子10kmフリー
▽第3位　山崎　星翔
▽第4位　大坂　颯輝
▽第5位　遊佐　翼
▽第6位　伊藤　隼
第46回東北高等学校スキー選手権大会
男子10kmクラシカル
▽第30位　山崎　星翔
▽第37位　湯山　福虎
▽第38位　大坂　颯輝
▽第39位　伊藤　隼
▽第40位　佐々木叶羽
▽第41位　篠原　雄大
男子10kmフリー
▽第33位　山崎　星翔
▽第35位　大坂　颯輝
▽第37位　伊藤　隼
▽第38位　湯山　福虎
▽第39位　佐々木叶羽
▽第41位　篠原　雄大

機械研究

第27回スターリングテクノラリーSC3Vクラス
▽第3位　徳江　圭太（機械科3年）
ものづくりコンテスト旋盤部門　宮城県大会
▽第4位　佐々木　亮（機械科1年）
▽第6位　中鉢　悠雅（機械科1年）
第61回技能五輪宮城県大会機械加工の部
▽優秀賞　門間　匠
第18回若年者ものづくり競技大会（フライス盤）
▽銀賞　厚生労働大臣
機械研究部3年　高橋真史

大会では、練習してきた成果を十分に発揮することができました。本校では初となる、厚生労働大臣・銀賞をいただくことができたのは、とても嬉しいです。しかし、一か所のミスで金賞を逃したことが残念に思います。三年間積み重ねてきた自分の技術や技能がどこまで身に付いたか、大会を通してあらためて実感することができました。この経験を糧に、これからも一層、精巧で誰もが納得がいくものづくりに努力していきたいと思います。

化学技術研究

第32回宮城県高等学校生徒活動成果発表会
▽奨励賞　化学技術研究部

今年の研究活動は、春頃から部員主体で始まり、先生からアドバイスをもらいながら行いました。

パパ好み班は、着色にこだわることで、食品サンプルをより本物に近づけられるようにメンバーで協力し合いました。

アロマキャンドル班は、残念ながら実験は失敗してしまいましたが、改善点を考えて来年再チャレンジするという意気込みを見せていました。

発表では、メンバー全員とても緊張しましたが、無事に終わることができたので良かったです。

入賞することはできませんでしたが、部活動の引退前、最後に貴重な経験ができてとても良かったです。

奥田　珠真（Ch3）

美術

第76回宮城県高等学校美術展
▽奨励賞　千葉　琥珀

吹奏楽

アンサンブルコンテスト大崎地区大会
▽銀　賞
宮城県管打楽器ソロコンテスト予選
▽優良賞　佐藤　銀河
▽優良賞　伊藤　松子
全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト南東北大会
▽銅　賞　佐藤　銀河

一年間の活動を通して

新聞委員長　柳田　成智

この新聞委員会の活動も一年が経ちました。私はこの新聞委員会に入って良かったと、心の底から思っています。どの委員会に入ろうか悩んでいる皆さん、是非、新聞委員会に入りましょう。新聞委員会に入ったら、今、学校で何が起きているのかを知ることができます。学校のことなんて興味がないよ～ってそこの方!!私も最初は興味がありませんでしたが、委員会の活動を続けていくうちに、「今年はこの部活が強いのか」「同じクラスの生徒がこんな事してたんだ」など、徐々に興味が沸いてきました。活動を通して、この古川工業を好きになることができ、本当に新聞委員会に入って良かったと思っています。委員のみなさん、一年間お疲れさまでした。